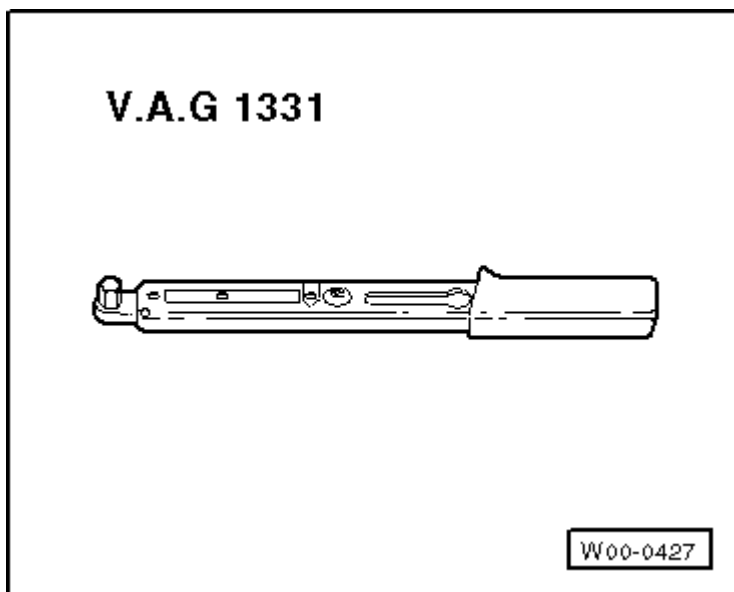


ブレーキ パッド取り外し・取り付け

トルク レンチ -V.A.G1331-

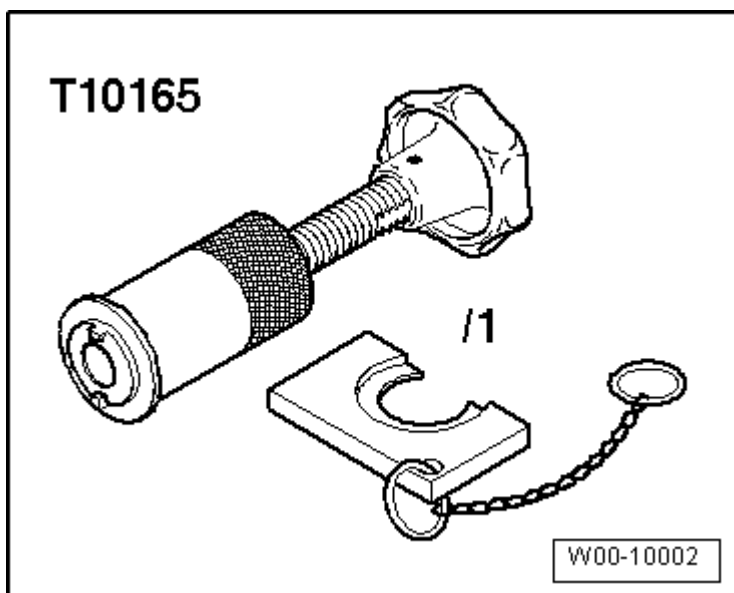


ピストン コンプレッション ツール -T10165-

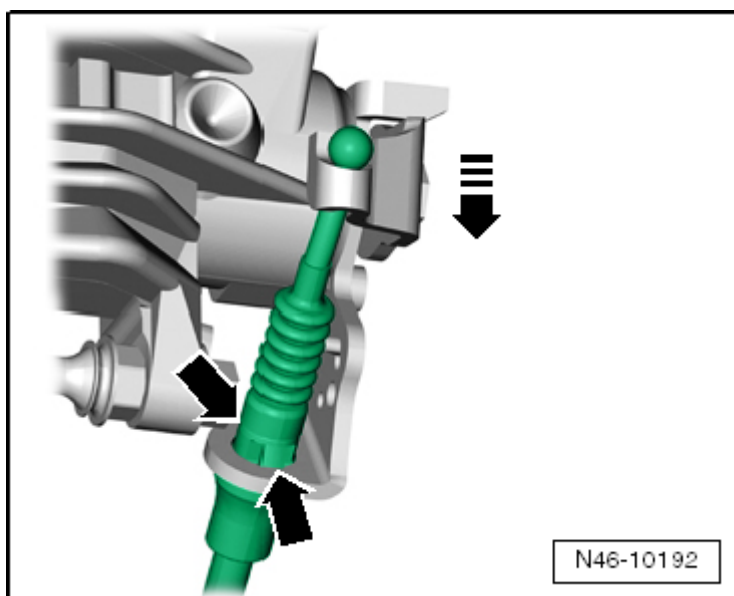
ブレーキ パッドを再使用する場合はマークを付けること。ブレーキの片効きを防止するため、必ず元のポジションに取り付けること。

取り外し

- 車両をリフトアップする。
- ホイールを取り外す。



- ブレーキ レバーを -矢印方向- に押して、パーキング ブレーキ ケーブルをブレーキ レバーから外す。
- 両方のロックング ラグ -矢印- を押して、パーキング ブレーキ ケーブルをブレーキ キャリパーのブラケットから引き抜く。



- ガイド ピンを保持して、固定ボルトをブレーキ キャリパーから取り外す。

- ブレーキ キャリパーを外し、ブレーキ キャリパーの重みでブレーキ ホースに負荷がかかったり、損傷させないようにワイヤーで固定する。

**注意!**

ブレーキ キャリパーをブレーキ ホースで下げた状態にしないこと。

- ブレーキ パッドを取り外す。

清掃:**警告!**

圧縮空気によって生じるブレーキ ダストは人体に有害であるため、ブレーキ システムに圧縮空気を吹き付けないこと。

- ブレーキ キャリアとパッド リテイニング プレートの接触面を入念に清掃し、腐食を取り除く。
- ブレーキ キャリパーを清掃する。特にブレーキ パッドの接着面に接着剤の残りやグリースが付着していないこと。

ブレーキ キャリパーの清掃には、アルコールのみを使用すること。

取り付け

新品のボルトを使用する。

ピストンをシリンダーに押し込む前に、ブレーキ フルードをブレーキ フルード リザーバーから抜き取る。リザーバーにブレーキ フルードが充填されていると、ブレーキ フルードが流出し、パーツが損傷する可能性がある。

**警告!**

ブレーキ フルードは有害であるため、決してホースに口を付けて吸引しないこと。

- ピストン コンプレッション ツール -T10165- をブレーキ キャリパー ハウジングのピストンに取り付ける。
- ピストン コンプレッション ツール -T10165- のローレット ホイールを時計方向に回して、ピストンを締め込む。保護キャップを損傷しないこと。

**注:**

ピストンが固着している場合、オープン エンド スパナ SW13 を所定のスパナ面 -矢印- に押し込んで回す。

- ブレーキ パッドのバック プレートに保護フィルムが貼り付けられている場合は剥がす。
- ブレーキ パッドをブレーキ キャリアに取り付ける。

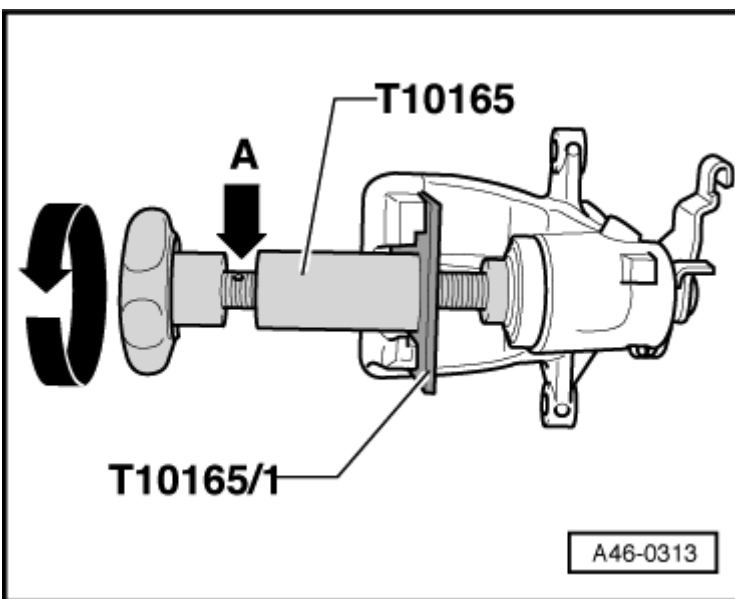
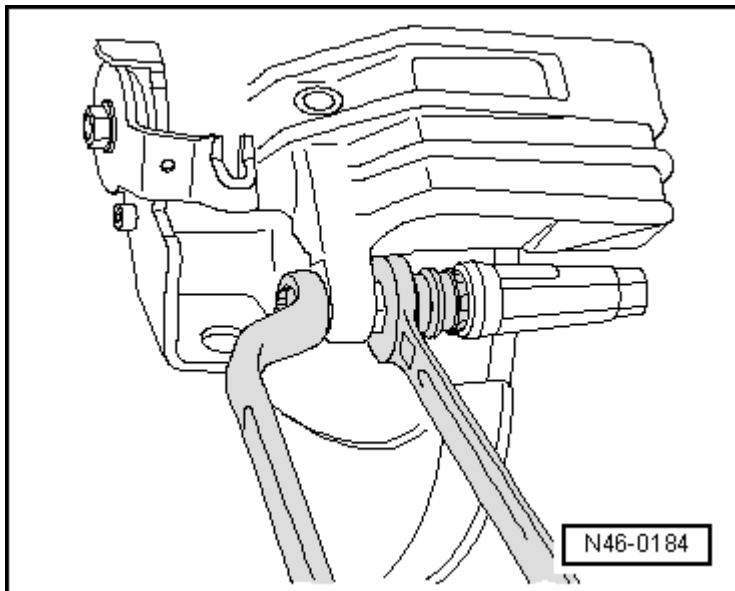
**注:**

ブレーキ パッドの(Spring)は、モデルによって取り付けられている場合がある。

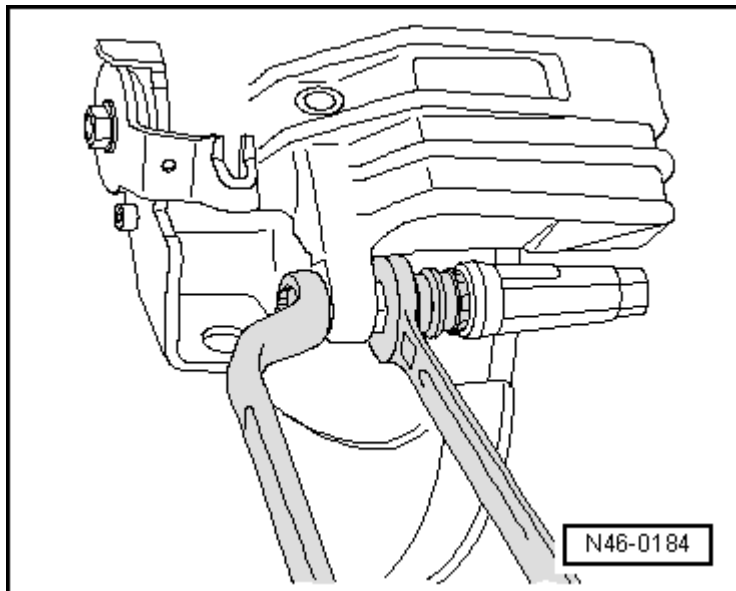
- ブレーキ キャリパーを取り付ける。

新品のボルトを使用する。

- ガイド ピンを保持して、ブレーキ キャリパーを新品の固定ボ



ボルトでブレーキ キャリアに固定する。



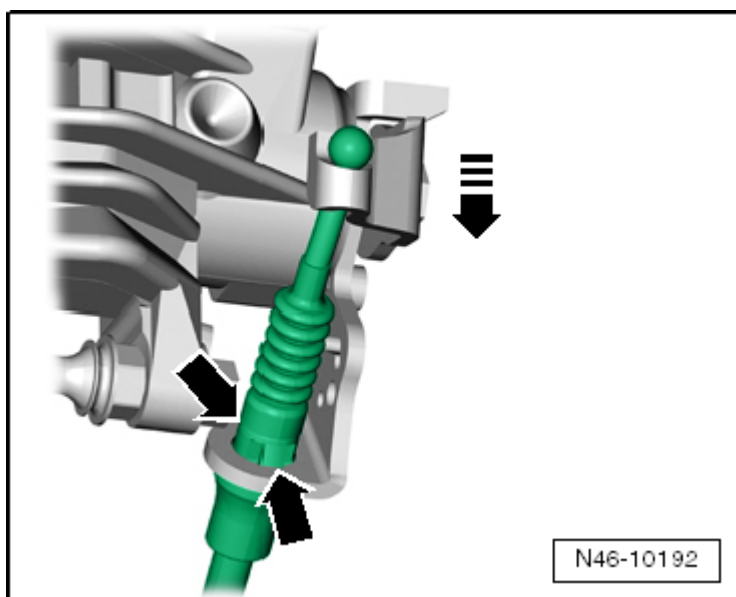
- ロッキング ラグ -矢印- がかみ合うまで、パーキング ブレーキ ケーブルをブレーキ キャリパーのブラケットに押し込む。
- ブレーキ レバーを -矢印方向- に押して、パーキング ブレーキ ケーブルをブレーキ レバーに取り付ける。
- ホイールを取り付ける。

ホイール ボルトの規定トルク **ランニング ギヤ、アクスル、ステアリング; Rep.-Gr. 44**



注:

- ◆ 取り付け後は、停車状態でブレーキ ペダルを数回力強く踏み込み、パッドを所定の作動ポジションに落ち着かせること。
- ◆ ブレーキ パッド交換後は、ブレーキ フルード レベルを点検すること。



注意!

走行前、ブレーキが正しく機能するか確認すること。